

平成22年度 施策評価表

施策名		公園			担当部	都市整備部				
					担当課	公園課				
施策意図		区民ニーズや地域特性を踏まえた公園が整備され、多くの区民が利用している。								
現状と課題		<p>平成22年4月1日現在、区内には都立水元公園を含めて313箇所の公園・児童遊園が開園している。これまでの整備により、区民一人当たりの公園面積は4.04㎡まで増加したが、今後も一人当たり5㎡の目標に向けて、レクリエーション、防災、環境保全、景観形成に資する整備を進めていく。特に、新宿六丁目地区において、(仮称)新宿六丁目公園の整備を進めており、東京理科大学の開学(平成25年度予定)にあわせた開園に向けて重点的に取り組んでいるところである。</p> <p>しかしながら、公園面積の約6割を占める水元公園や河川敷公園は区の周辺部にあり、市街地の身近な公園は未だ不足している状況にある。さらに、利用者のニーズの多様化とともに、既設公園の老朽化や不適切な利用など公園に対するマイナスイメージが少なからずあり、マーケティング調査における満足度は約半数に留まっている。都市におけるやすらぎや憩いの場として、満足度を高めていくためには、魅力ある公園の整備とともに、偏在化の解消、日常の維持管理の充実によって、誰もがいつでも安心して利用できる公園にしていく必要がある。</p>								
成果指標		単位	指標根拠		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
1	区民1人あたりの公園面積	㎡	公園面積÷人口	目標	3.79	3.86	4.02	4.02	4.15	
				実績	3.97	4.01	4.02	4.04		
2	公園に満足している区民の割合	%	政策・施策マーケティング調査	目標	46.80	47.10	56.00	56.30	56.50	
				実績	45.80	54.90	52.10	52.10		
3	-	-	-	目標	-	-	-	-	-	
				実績	-	-	-	-		
評価・分析	成果	<p>厳しい財政状況にあっても、区民一人当たりの公園面積5㎡(「緑とオープンスペース基本計画」目標値)に向けて、着実に公園整備を進めてきた。(成果指標1)</p> <p>老朽化した遊具等の公園施設については巡回点検や補修等の日常管理、施設更新工事に対応するとともに、清掃、除草、樹木剪定などを適切に行い、公園を良好な状態に維持するよう努めているが、公園に満足している区民の割合は、約半数に留まっている。(成果指標2)</p>								
	コスト	<p>施策のコストのうち、日常の維持管理費(一般公園維持管理、児童遊園維持管理)が70%あまりを占め、新設関連の事業費(公園新設、(仮称)新宿六丁目公園整備)は全体の8%あまりに過ぎない。ただし、今後(仮称)新宿六丁目公園やその他の大規模公園の整備が進めば、トータルコストが大幅に増加するとともに全体の構成比も大きく変動する。</p>								
成果向上のための取組方針		<p>区民一人当たりの公園面積5㎡を目指し、(仮称)新宿六丁目公園の新設とともに、水元中央公園(フィットネスパーク)・小菅西公園の拡張やその他の公園の整備についても着実に推進していく。</p> <p>その一方で、既設の公園・児童遊園の半数以上が開園後25年以上経過し、施設も老朽化していることから、安全・安心で魅力ある公園へと改修していくとともに、利用者がいつでも快適に利用できるよう日常の維持管理も充実させていく。</p>								

# コスト分析表

年 度 平成22年度

所 属 21800000

施 策 1238

都市整備部 公園課

公園

期 間 平成17年度 ～ 平成22年度

(単位：千円)

		NO	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)	80,000	77,000	24,600	22,000	24,000
		都道府県支出金	(2)	4,250	0	1,682	0	67,328
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	101,293	19,854	26,577	186,337	77,208
		一般財源	(5)	1,674,598	1,750,138	1,617,367	1,615,677	1,509,761
	直接費	事業費	(6)	1,291,173	1,300,823	1,124,363	1,289,351	1,178,210
	職員人件費	人件費	(7)	520,497	500,408	525,888	512,680	480,267
		再雇用職員分	(8)	43,200	40,500	16,200	16,200	13,500
		(職員数：賦課)	(9)	61.41	60.28	65.82	62.48	59.49
		(職員数：配賦)	(10)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		職員数合計(9)+(10)	(11)	61.41	60.28	65.82	62.48	59.49
	調整額	間接費	(12)	5,271	5,261	6,300	5,783	6,320
		(加算)減価償却費	(13)	58,039	58,039	58,039	58,039	58,039
		(加算)金利	(14)	194,078	143,584	103,369	74,227	55,290
		(加算)退職給与引当	(15)	52,839	39,396	53,838	40,936	39,543
		(控除)コスト対象外	(16)	0	0	0	0	0
		(控除)雑収入	(17)	0	0	0	0	0
		調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)	304,956	241,019	215,246	173,202	152,872
トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)	2,165,097	2,088,011	1,887,997	1,997,216	1,831,169		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	348,068	77,000	33,199	39,211	0
		都道府県支出金	(21)	4,500	0	12,022	18,726	0
		地方債	(22)	0	0	0	0	0
		その他	(23)	28,035	35,594	11,241	70,882	0
		一般財源	(24)	2,119,489	1,637,801	1,833,012	1,557,440	0
	直接費	事業費	(25)	1,964,674	1,209,104	1,349,143	1,164,555	0
	職員人件費	人件費	(26)	491,303	494,776	518,696	493,403	0
		再雇用職員分	(27)	39,000	36,400	15,600	13,000	0
		(職員数：賦課)	(28)	61.41	61.14	65.82	63.63	0.00
		(職員数：配賦)	(29)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		職員数合計(28)+(29)	(30)	61.41	61.14	65.82	63.63	0.00
	調整額	間接費	(31)	5,115	10,115	6,035	15,301	0
		(加算)減価償却費	(32)	58,039	58,039	57,546	57,546	0
		(加算)金利	(33)	194,078	143,584	103,369	74,227	0
		(加算)退職給与引当	(34)	40,187	39,998	53,838	41,041	0
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0	0	0	0
		(控除)雑収入	(36)	0	0	0	0	0
		調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	292,304	241,621	214,753	172,814	0
トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	2,792,396	1,992,016	2,104,227	1,859,073	0		

平成22年度 施策別事務事業一覧表

施策名	公園	施策トータルコスト (千円)		担当部	都市整備部				
		1,859,073		担当課	公園課				
事務事業名	成果指標				事務事業コスト(千円)		取組内容	職員が 直接関 与する 根拠法令	
	指標名(単位)	20 実績	21 実績	22 目標	20実績	21実績	効率性 の分析		
					増減額		施策内 割合(%)		
公園新設	区民一人あたりの公園面積(m <sup>2</sup> /人)=公園開園面積(供用開始)/葛飾区の人口(外国人登録含む)※他の事務事業も含む。	4.02	4.04	4.15	469,871	80,618	4.34	—	無
	公園づくり検討会参加者数(人)	95	118	225	-389,253			B	
公園施設再生事業	35年以上を経過している遊具数(基)	153	134	124	66,111	191,551	10.30	2,3	無
	砂場柵設置率(%)	54.72	57.35	58.77	125,440			A	
一般公園維持管理	苦情・要望件数(件)	796	994	500	1,073,308	1,080,257	58.11	2,3	無
	—	—	—	—	6,949			A	
児童遊園維持管理	苦情・要望件数(件)	278	322	200	255,659	241,527	12.99	2,3	無
	—	—	—	—	-14,132			A	
交通公園維持管理業務委託	1日あたりの遊具利用者数(人)(北沼・上千葉砂原・新宿交通公園の合計)	1,064	1,030	1,200	63,506	63,230	3.40	2	無
	—	—	—	—	-276			B	
上千葉砂原公園ふれあい動物広場運営業務委託	ふれあい率(ポニー乗馬利用者数+ふれあい動物コーナー利用者数)÷延べ総入場者数×100(%)	45.96	46.66	49.50	42,991	43,077	2.32	2	無
	延べ総入場者数(人)	207,880	244,107	210,000	86			B	
新宿交通公園内ミニSL運行	乗客数(人)	63,338	67,176	80,000	17,438	17,524	0.94	—	無
	鉄道教室参加者数(人)	604	553	700	86			B	
民間遊び場補助事業	民間遊び場総面積(m <sup>2</sup> )	13,263.27	13,263.27	13,263.27	2,413	2,826	0.15	—	無
	—	—	—	—	413			B	
公園課庁舎管理運営	修繕件数(件)	15	9	5	24,074	16,311	0.88	—	無
	—	—	—	—	-7,763			B	
水産試験場跡地管理(金魚の飼育・展示)	金魚展示場来園者数(人)	28,078	32,005	33,000	8,107	7,896	0.42	2	無
	—	—	—	—	-211			B	



## 平成22年度 施策評価表

施策名	緑化				担当部	環境部				
					担当課	環境課				
施策意図	緑の豊かさが感じられる。									
現状と課題	地球温暖化防止、都市部のヒートアイランド現象の緩和など、都市・街における緑の役割は重要であり、また都市景観の向上や生垣などの防災機能としての役割など、区民生活において良好な住環境を形成していくうえで、緑を保全・創出していく諸施策の充実が今後も期待されている。									
成果指標		単位	指標根拠		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
1	緑の豊かさを感 じる区民の割合	%	政策・施策マーケ ティング調査	目標	43.80	44.00	44.10	56.50	57.00	
				実績	47.50	55.50	53.50	55.70		
2	-	-	-	目標	-	-	-	-	-	
				実績	-	-	-	-		
3	-	-	-	目標	-	-	-	-	-	
				実績	-	-	-	-		
評価・ 分析	成果	成果指標のマーケティング調査では、緑の豊かさを感ずる区民の割合が目標値の56.5%には達しなかったが、20年度より2.2%増加し55.7%であった。ここ数年、緑のゆたかさを感ずる区民の割合が50%を超える高い割合となっている。								
	コスト	事務事業コストは20年度に比べると減少しており、これは緑化施策事業の事務事業コストの約80%以上を占める街路樹維持管理事業のコスト削減が全体のコスト減につながった。しかしながら、街路樹や歩道緑地帯の剪定、清掃除草、害虫駆除などの経費が大半を占めている中で、それらすべてが民間委託となっており、区職員は、苦情・要望への即時対応や交通安全上支障となる私的植栽や植木鉢等の撤去指導を行っているため、今後はコスト縮減の余地が乏しい。								
成果向上 のための 取組方針	<p>区内の緑化を進めていく上で、道路緑化事業や街路樹維持管理事業を適正に実施していくことは必要不可欠であり、また、民有地の緑を守り、保全していくためにも、今後も補助制度の実施や、緑化を推進するための普及啓発事業などを実施する必要がある。特に、区民が身近に緑を感じてもらえるような取り組みのひとつとして、身近な地球温暖化防止対策でもある緑のカーテンの普及等を今後も推進していく。</p> <p>これからも、区民が緑の豊かさをより実感できるように、区が主体となって進めるべき事業については確実に事業を推進していく一方、区民の緑化意識を高め、普及啓発を図っていくことで、区だけではなく、区民と一体となって緑の保全・創出に取り組んでいく。</p>									

# コスト分析表

年 度 平成22年度

所 属 06040000

施 策 1239

環境部 環境課

緑化

期 間 平成17年度 ～ 平成22年度

(単位：千円)

		NO	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	50	50	0	2,920	1,940
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	65	73	80	74	64
		一般財源	(5)	309,413	333,152	332,196	280,185	282,185
	直接費	事業費	(6)	246,122	265,593	262,220	219,429	226,429
	職員人件費	人件費	(7)	63,336	67,682	70,056	63,750	57,685
		再雇用職員分	(8)	0	0	0	0	0
		(職員数：賦課)	(9)	7.28	7.87	8.34	7.50	6.95
		(職員数：配賦)	(10)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		職員数合計(9)+(10)	(11)	7.28	7.87	8.34	7.50	6.95
	調整額	間接費	(12)	70	0	0	0	75
		(加算)減価償却費	(13)	0	0	0	0	0
		(加算)金利	(14)	0	0	0	0	0
		(加算)退職給与引当	(15)	6,552	5,509	7,506	5,250	4,865
		(控除)コスト対象外	(16)	0	0	0	0	0
		(控除)雑収入	(17)	0	0	0	0	0
		調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)	6,552	5,509	7,506	5,250	4,865
トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)	316,080	338,784	339,782	288,429	289,054		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(21)	21	0	3,967	8,085	0
		地方債	(22)	0	0	0	0	0
		その他	(23)	72	373	503	89	0
		一般財源	(24)	294,717	321,505	320,181	273,714	0
	直接費	事業費	(25)	234,137	258,626	255,595	220,740	0
	職員人件費	人件費	(26)	60,673	63,252	69,056	60,750	0
		再雇用職員分	(27)	0	0	0	0	0
		(職員数：賦課)	(28)	7.31	7.53	8.32	7.50	0.00
		(職員数：配賦)	(29)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		職員数合計(28)+(29)	(30)	7.31	7.53	8.32	7.50	0.00
	調整額	間接費	(31)	0	0	0	398	0
		(加算)減価償却費	(32)	0	0	0	0	0
		(加算)金利	(33)	0	0	0	0	0
		(加算)退職給与引当	(34)	5,117	5,271	7,488	5,250	0
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0	0	0	0
		(控除)雑収入	(36)	0	0	0	0	0
		調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	5,117	5,271	7,488	5,250	0
トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	299,927	327,149	332,139	287,138	0		



平成22年度 施策評価表

施策名		水辺			担当部	都市整備部				
					担当課	公園課				
施策意図		河川を活かした快適な空間が整備され、多くの区民が水辺に親しんでいる。								
現状と課題		<p>河川と一体となった公園として整備する「水の拠点」は、西水元水辺の公園、東立石緑地公園に続き、現在(仮称)青戸六・七丁目公園の事業を進めており、(仮称)青戸六丁目公園の一部区域について都市計画法の事業認可を取得したところである(平成21年8月)。</p> <p>「水の拠点」を結ぶネットワークとして位置づけられている水辺の散策路については、国管理の中川において西水元一丁目先の中川左岸堤防整備に併せて散策路の整備を施工しており(平成22年8月完成予定)、引き続き、他の箇所についても国に築堤工事の早期着手を要請していく。また、東京都管理の新中川においても、堤防道路を積極的に活用し、散策路として整備を進めていく。</p> <p>桜づつみ事業についても、河川管理者による坂路整備や堤防補強工事などに併せて行う必要があるため、それらの機会を捉え、河川管理者と協議を行い整備を進めていく。</p> <p>また、豊かな自然・水辺環境を象徴する水元小合溜はここ数年水質改善が停滞していることから、水質改善・生態系の回復に向け、水質や自然環境の調査を実施している。</p>								
成果指標		単位	指標根拠		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
1	水の拠点整備面積	ha	水の拠点整備を行った面積の累計	目標	18.30	18.50	30.00	26.00	26.00	
				実績	23.10	25.60	26.00	26.00		
2	水辺が親しめる空間となっていると思う区民の割合	%	政策・施策マーケティング調査	目標	42.50	42.80	51.00	51.30	51.50	
				実績	43.20	50.20	46.80	52.90		
3	水辺の散策路整備延長	m	桜づつみ整備延長を含む累計	目標	630	1,260	1,900	1,320	2,480	
				実績	550	780	1,320	1,320		
評価・分析	成果	<p>葛飾区緑とオープンスペース基本計画に基づき、河川特性を活かした水の拠点の整備や、国との連携による桜づつみ事業など、豊かな水辺景観の形成に向けた事業を着実に実施するとともに、水元小合溜水質浄化事業や水辺のふれあいルーム運営など、水質改善や水辺に親しむ施設運営の充実も図ってきた。(成果指標1・2・3)</p> <p>加えて、国や都においても、荒川や江戸川のバリアフリー坂路整備、中川の耐震補強工事に伴うテラス整備など河川整備事業が進捗してきたこともあり、マーケティング調査において、水辺が親しめる空間となっていると思う区民の割合は、年度によって増減があるものの概ね増加傾向にある。(成果指標2)</p>								
	コスト	<p>施策を構成する事務事業のうち、維持管理(水元小合溜水質浄化施設)のコストが、施策の総コストの大半(78%)を占めている。また、平成21年度から新たに加わった新中川散策路整備事業が全体の12%あまりとなっている。</p> <p>なお、維持管理(水元小合溜水質浄化施設)のコストは、概ね1.1~1.2億円とほぼ横ばいで推移している。</p>								
成果向上のための取組方針		<p>青戸六・七丁目の水の拠点の整備については、引き続き、青戸六、七丁目地区全体の事業進捗(慈恵医大建替等)に合わせて着実に推進していく。また、水辺のネットワークを形成し、水辺に親しめる空間の整備のため、区実施計画の中で位置づけている新中川河川敷の活用を積極的に進める。さらに、水元小合溜の水質改善についても、引き続き調査を継続し、調査結果の分析及び浄化対策の検討を進め、豊かな水環境の再生に取り組んでいく。</p>								



# コスト分析表

年 度 平成22年度

所 属 21800000

施 策 1240

都市整備部 公園課

水辺

期 間 平成17年度 ～ 平成22年度

(単位：千円)

		NO	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)	30,000	0	3,200	0	0
		都道府県支出金	(2)	51,620	61,446	0	0	2,350
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	58,388	30,219	200	333	419
		一般財源	(5)	466,946	625,244	218,520	126,511	290,607
	直接費	事業費	(6)	531,975	679,989	197,802	111,289	271,962
	職員人件費	人件費	(7)	69,579	34,220	23,856	15,555	21,414
		再雇用職員分	(8)	5,400	2,700	0	0	0
		(職員数：賦課)	(9)	9.17	4.45	2.84	1.83	2.58
		(職員数：配賦)	(10)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		職員数合計(9)+(10)	(11)	9.17	4.45	2.84	1.83	2.58
	間接費	(12)	0	0	262	0	0	
	調整額	(加算)減価償却費	(13)	10,837	10,837	10,837	10,837	10,837
		(加算)金利	(14)	0	0	186	0	0
		(加算)退職給与引当	(15)	6,453	2,485	2,556	1,281	1,806
		(控除)コスト対象外	(16)	0	0	0	0	0
		(控除)雑収入	(17)	0	0	0	0	0
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)	17,290	13,322	13,579	12,118	12,643	
トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)	624,244	730,231	235,499	138,962	306,019		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	15,400	0	1,600	0	0
		都道府県支出金	(21)	42,170	72,139	14,257	0	0
		地方債	(22)	0	0	0	0	0
		その他	(23)	61,816	25,210	39,466	396	0
		一般財源	(24)	296,009	427,510	153,834	138,812	0
	直接費	事業費	(25)	343,284	489,778	185,334	119,525	0
	職員人件費	人件費	(26)	66,911	33,150	23,572	19,683	0
		再雇用職員分	(27)	5,200	0	0	0	0
		(職員数：賦課)	(28)	9.17	4.45	2.84	2.43	0.00
		(職員数：配賦)	(29)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		職員数合計(28)+(29)	(30)	9.17	4.45	2.84	2.43	0.00
	間接費	(31)	0	1,931	251	0	0	
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	10,837	10,837	10,873	10,873	0
		(加算)金利	(33)	0	0	186	0	0
		(加算)退職給与引当	(34)	5,019	2,485	2,556	1,701	0
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0	0	0	0
		(控除)雑収入	(36)	0	0	0	0	0
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	15,856	13,322	13,615	12,574	0	
トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	431,251	538,181	222,772	151,782	0		

